

(1) 自殺の現状と関連する状況について

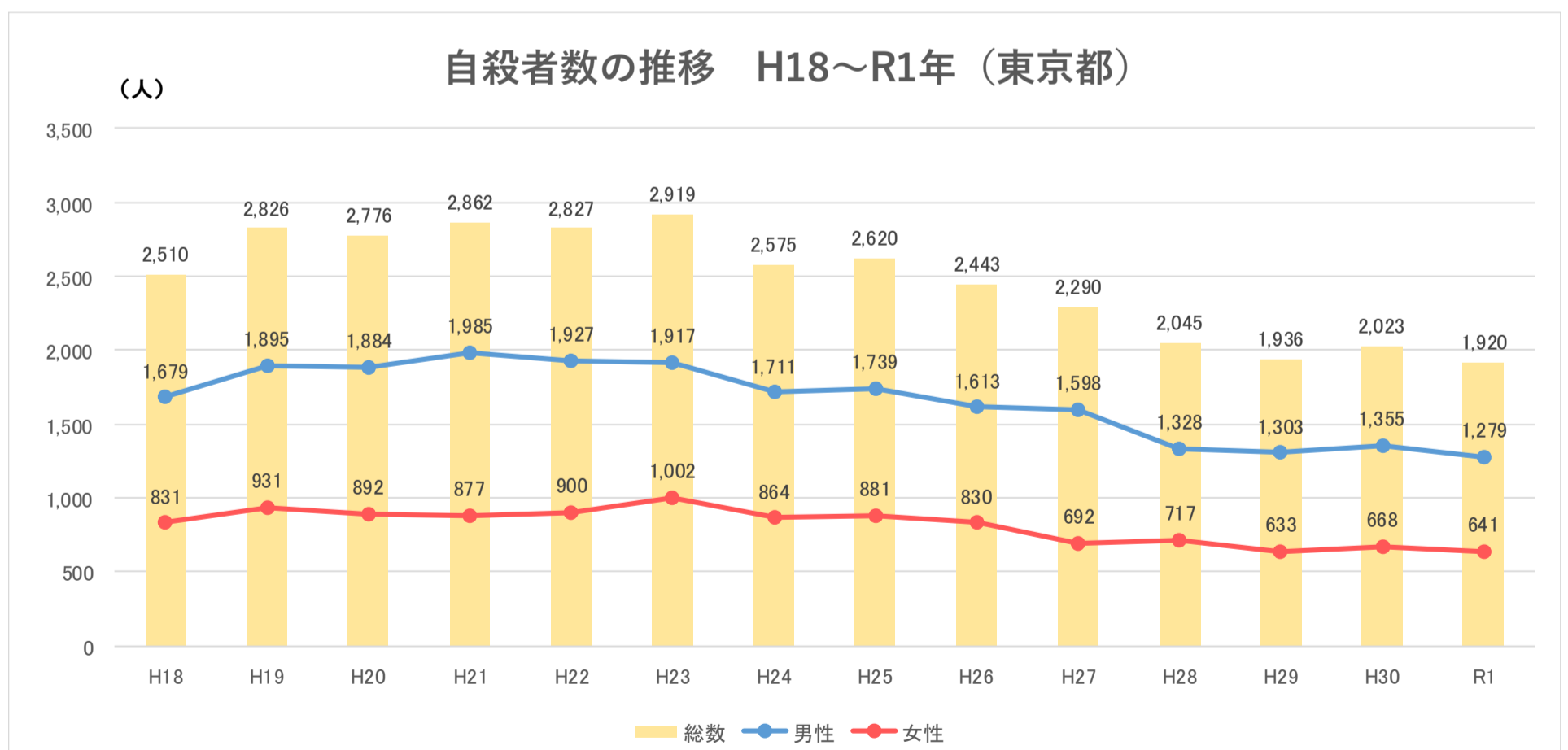
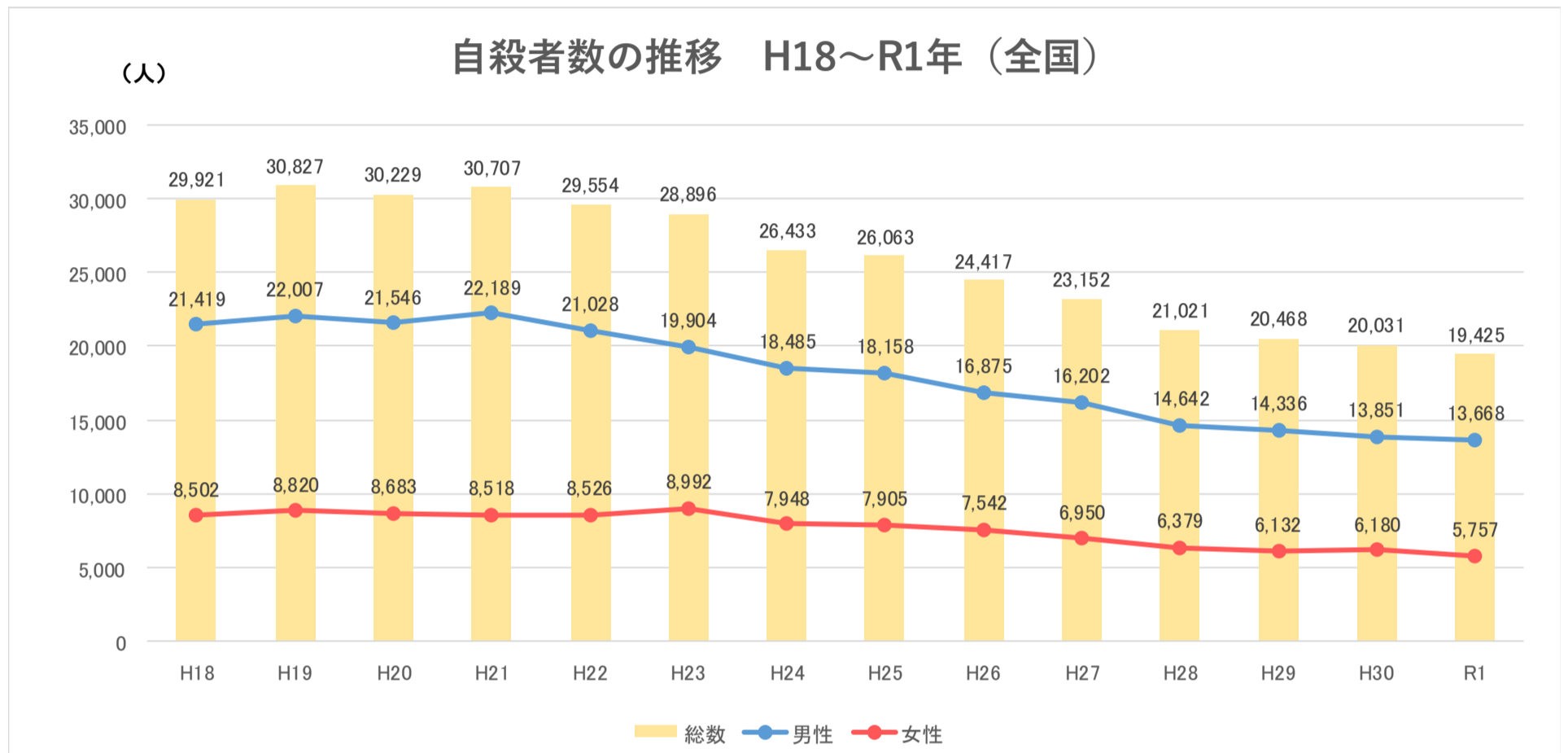
★人口動態統計（厚生労働省）と自殺統計（警察庁）の違い

- ・人口動態統計は、日本における日本人の自殺者を対象としているのに対し、自殺統計は、日本における全ての自殺者（外国人を含む）を対象にしています。
- ・人口動態統計は、住所地（住民票上の市町村）に計上しているのに対し、自殺統計は、発見地と居住地で計上しています。
- ・人口動態統計が死亡診断書による死亡時点を計上するのに対し、自殺統計は後からでも自殺と判明した時点で計上します。
- ・人口動態統計は約2年前の数値が最新であるのに対し、自殺統計は約2か月前の数値（速報値及び暫定値のため修正される）を確認することができます。

ア 人口動態統計から（出典 厚生労働省ホームページ「人口動態統計」）

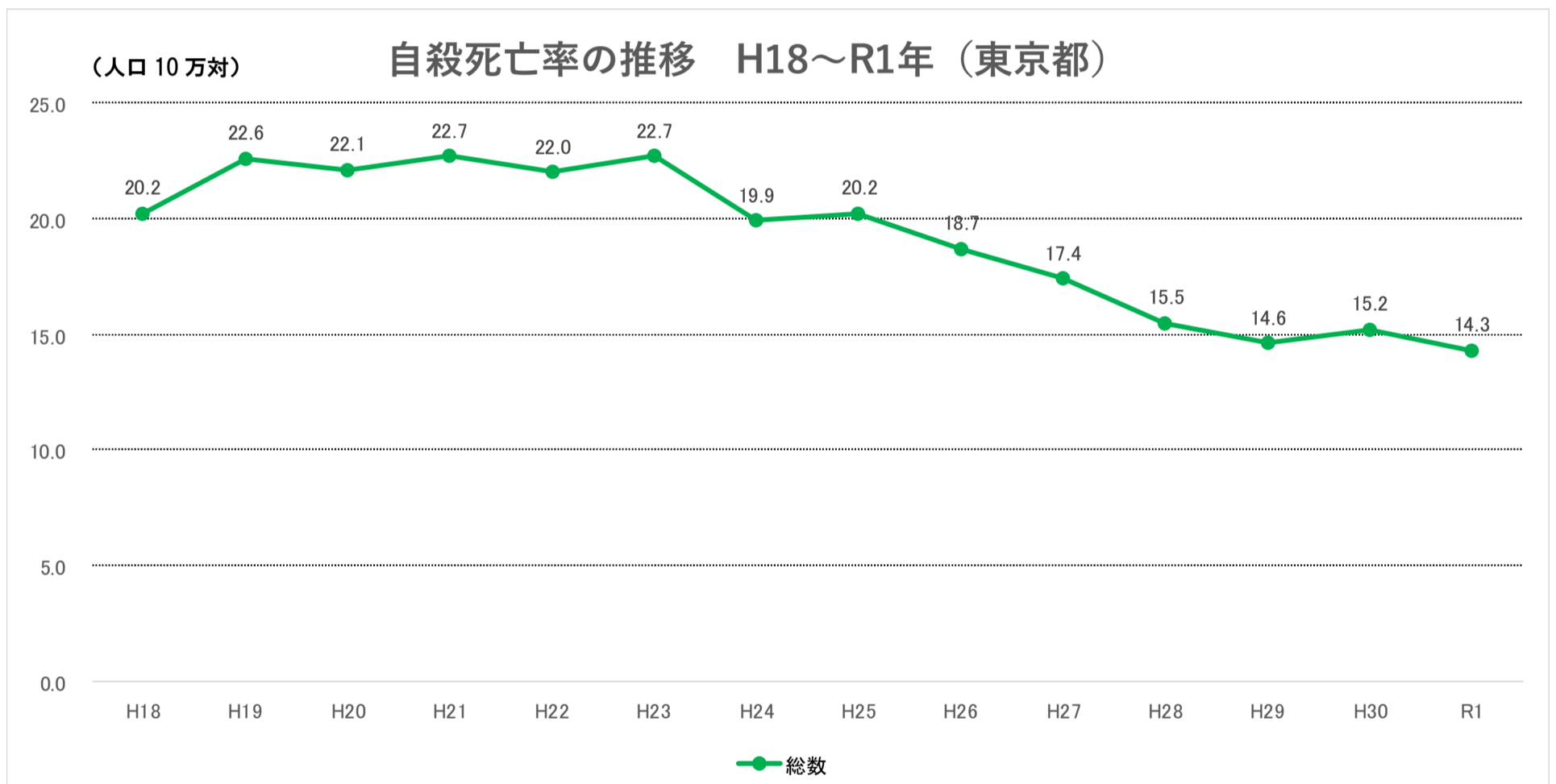
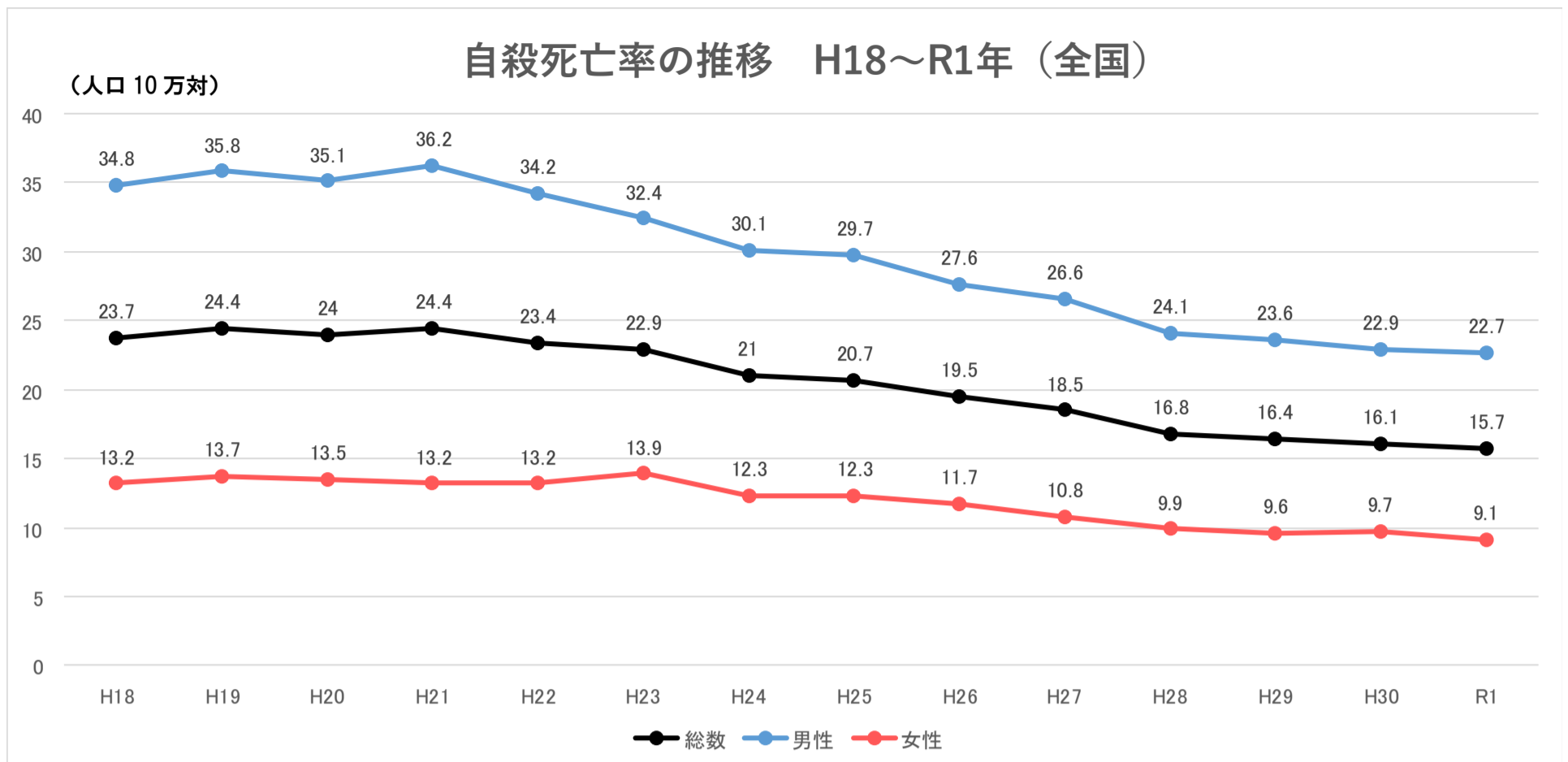
◆ 自殺者数

- ・全国の推移をみると、平成21年から減少傾向にあります。東京都は平成29年まで緩やかに減少し、30年に増加しましたが、令和元年には最も少ない人数となりました。



◆ 自殺死亡率（人口10万人当たりの自殺死亡者数 自殺者数÷人口×100,000人）

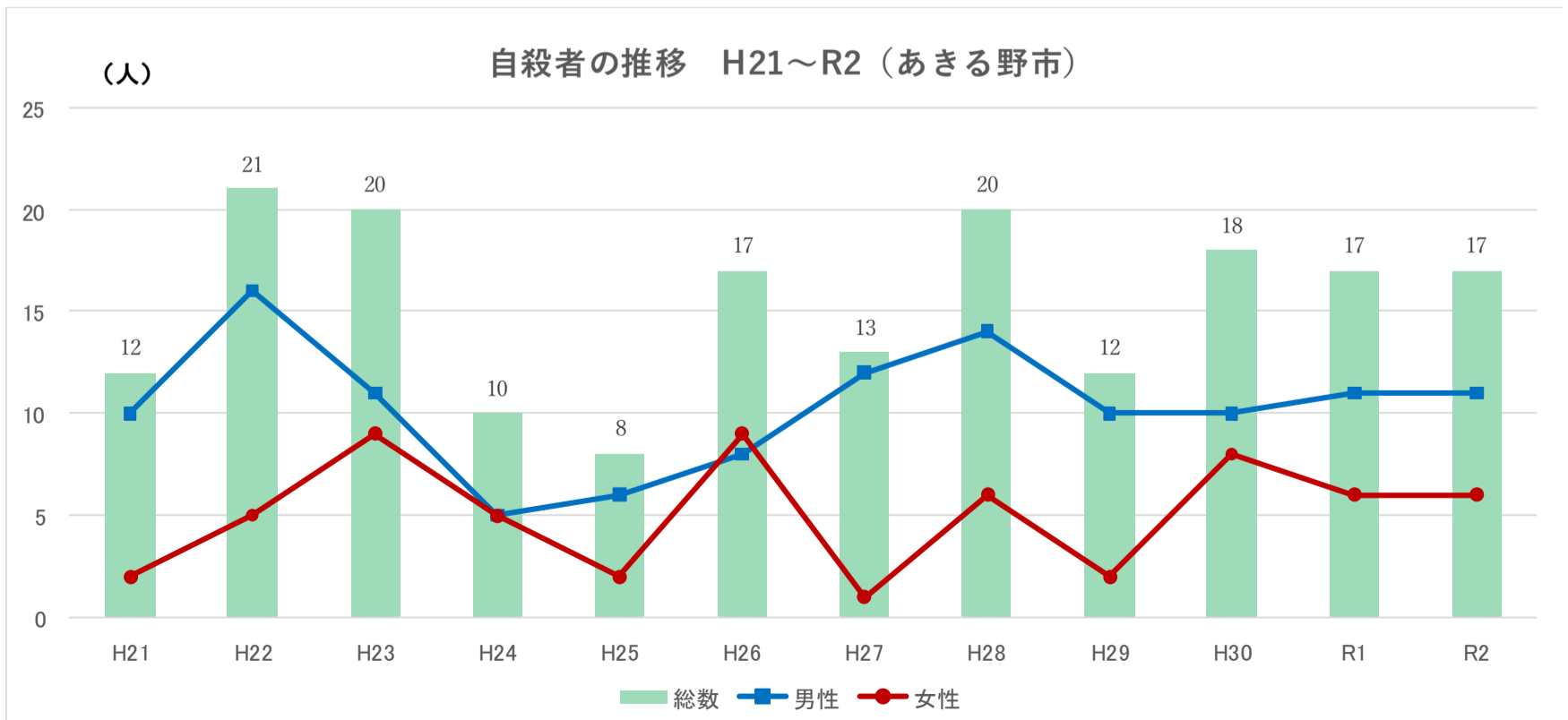
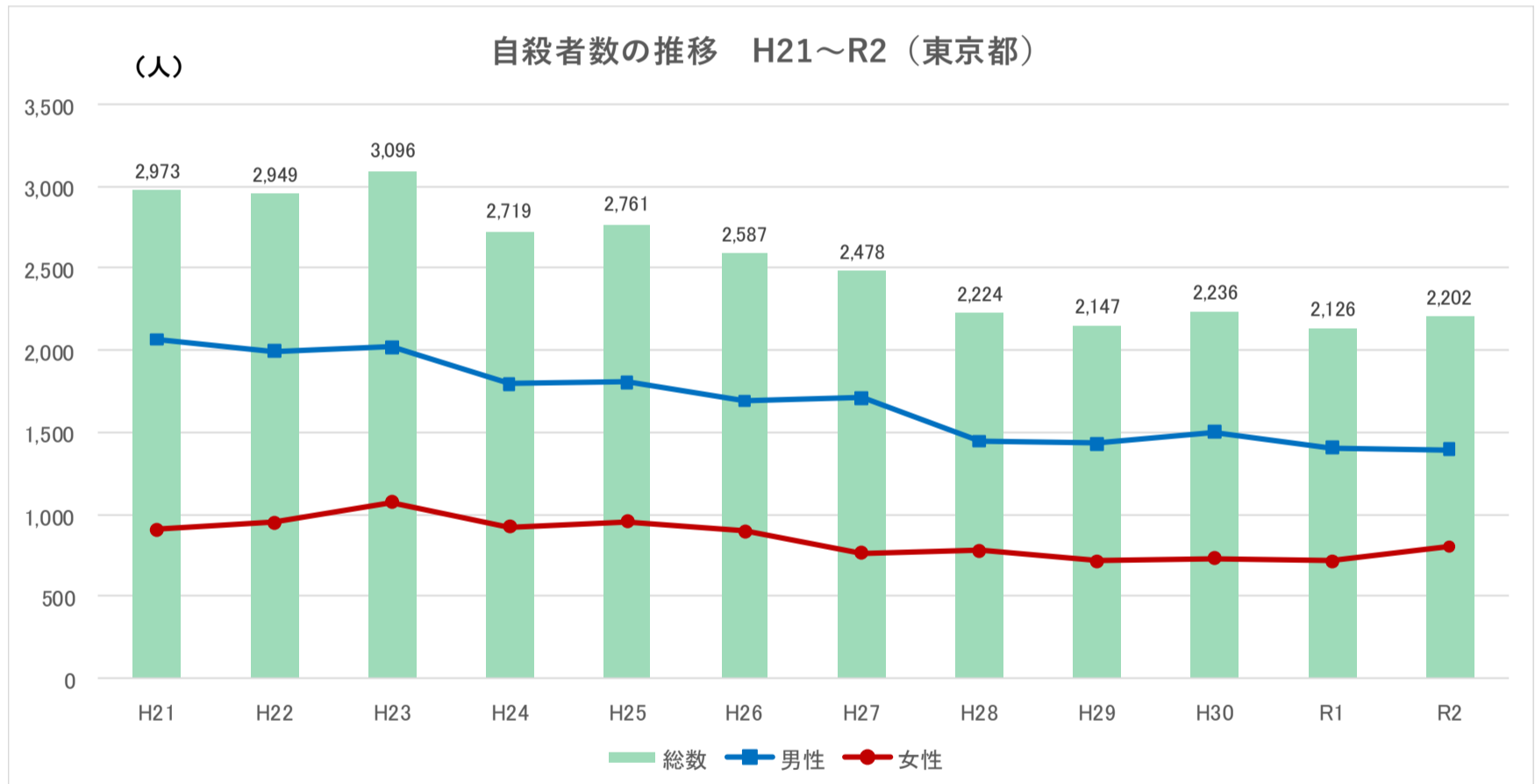
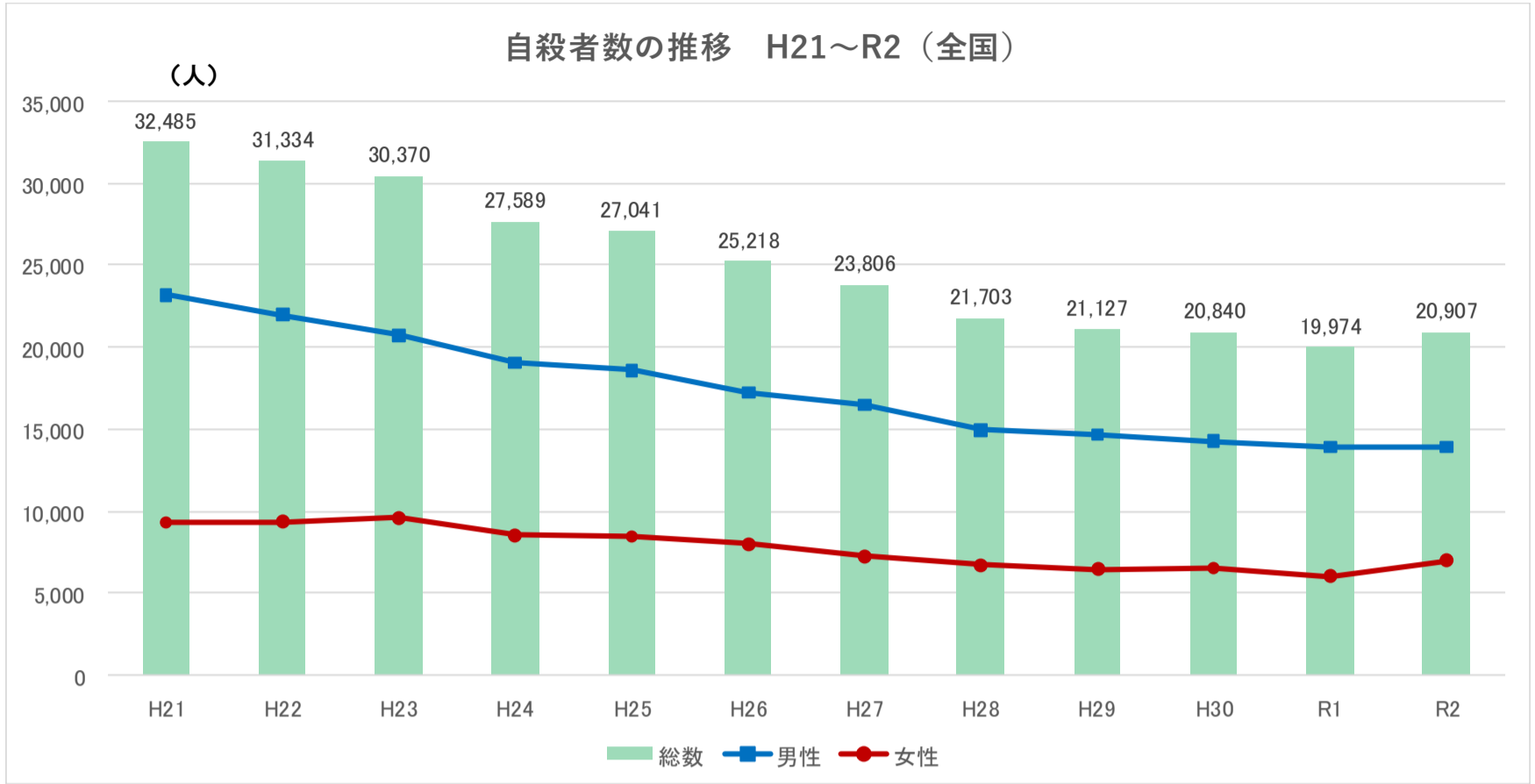
・全国、東京都ともに減少傾向にあります。



イ 自殺統計から (今回掲載しているデータは全て居住地のデータを使用しています)

◆ 自殺者数 (出典 厚生労働省ホームページ 地域における自殺の基礎資料)

自殺者数の推移を見ると、全国、東京都ともに、緩やかに減少していましたが、令和2年は増加しました。あきる野市は横ばいになっています。



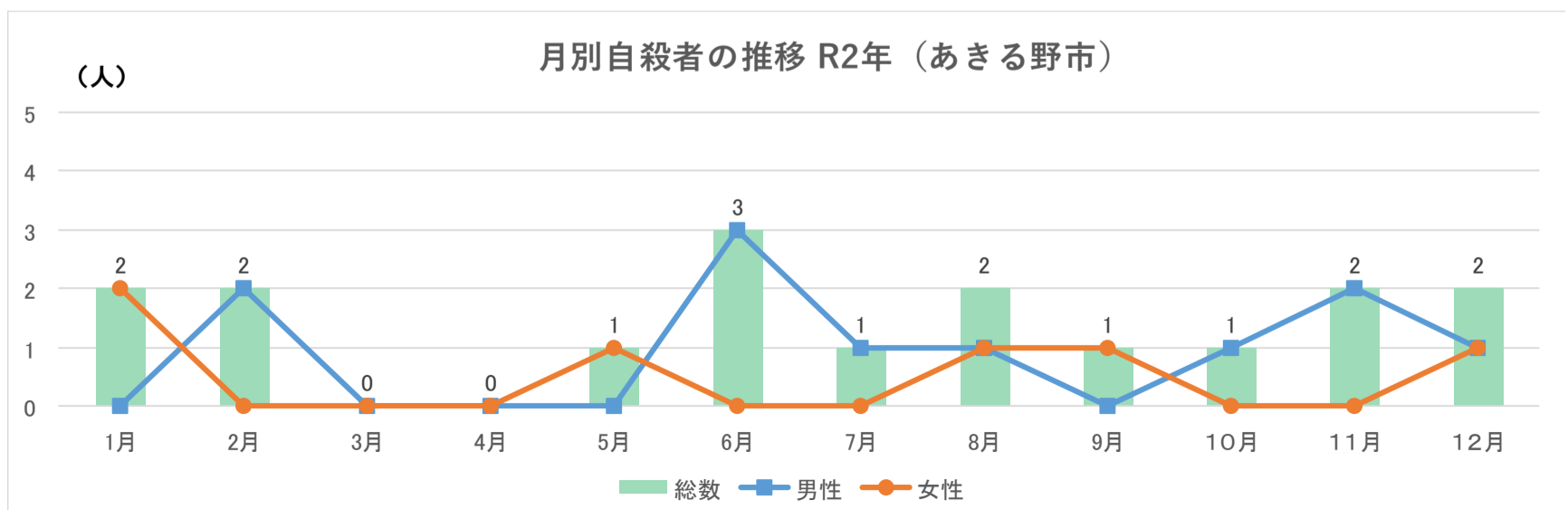
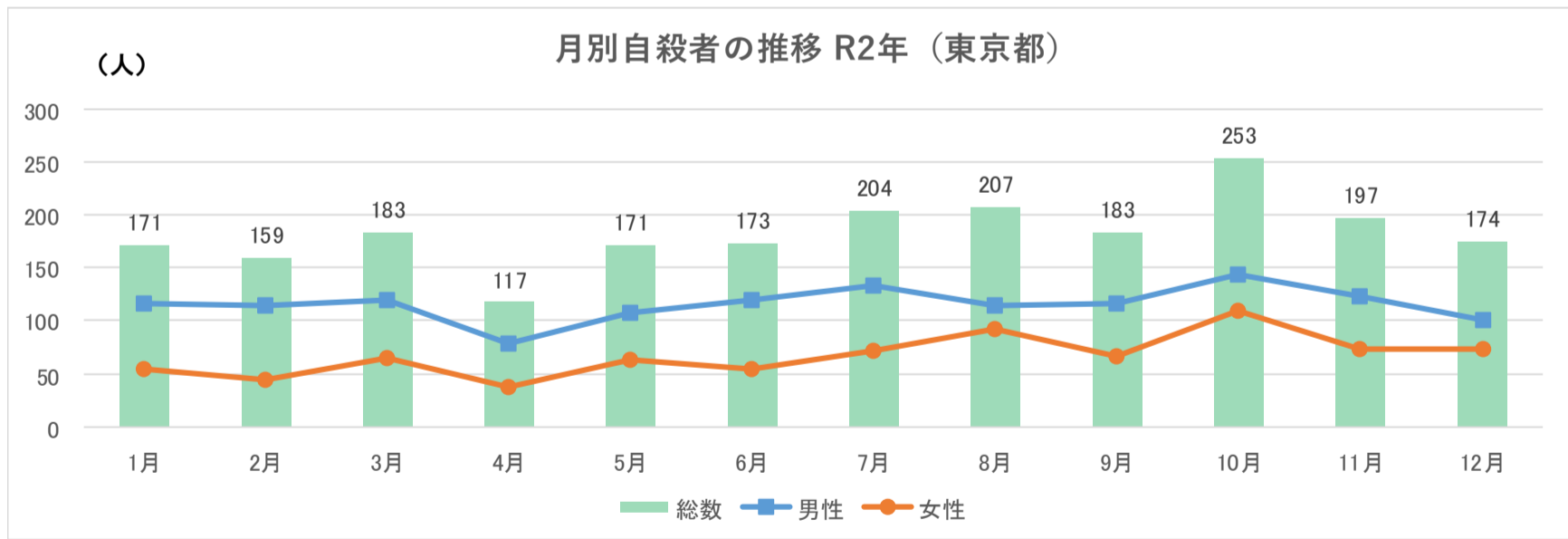
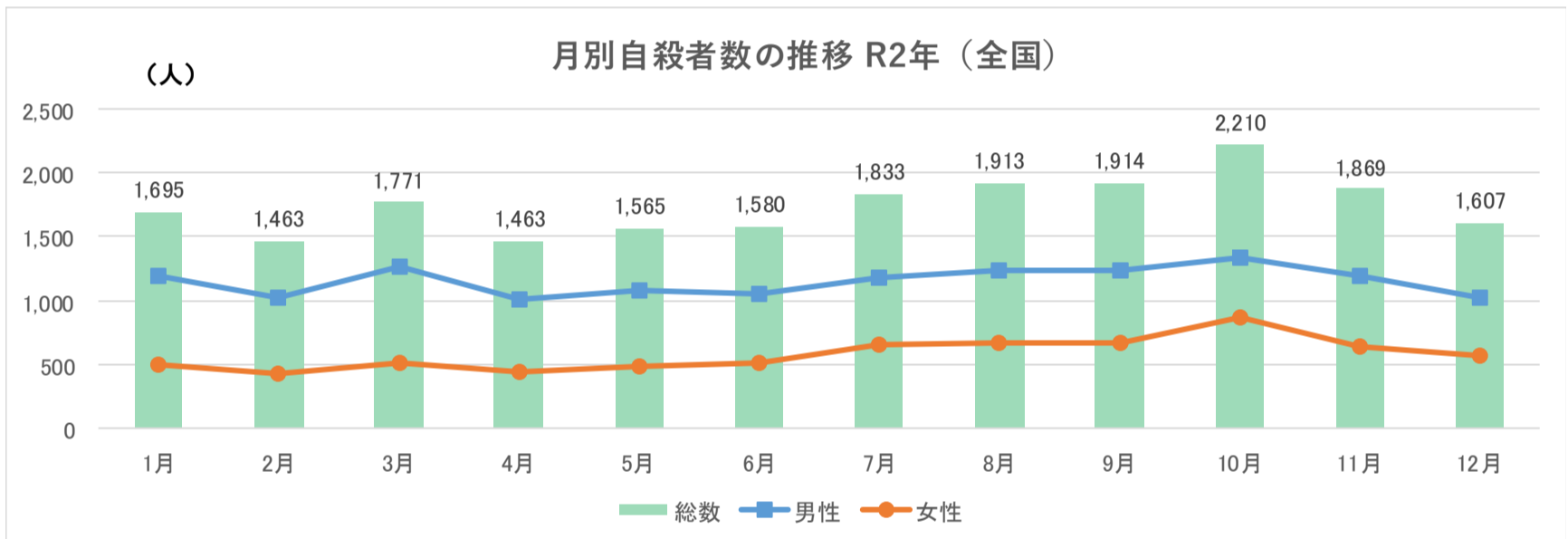
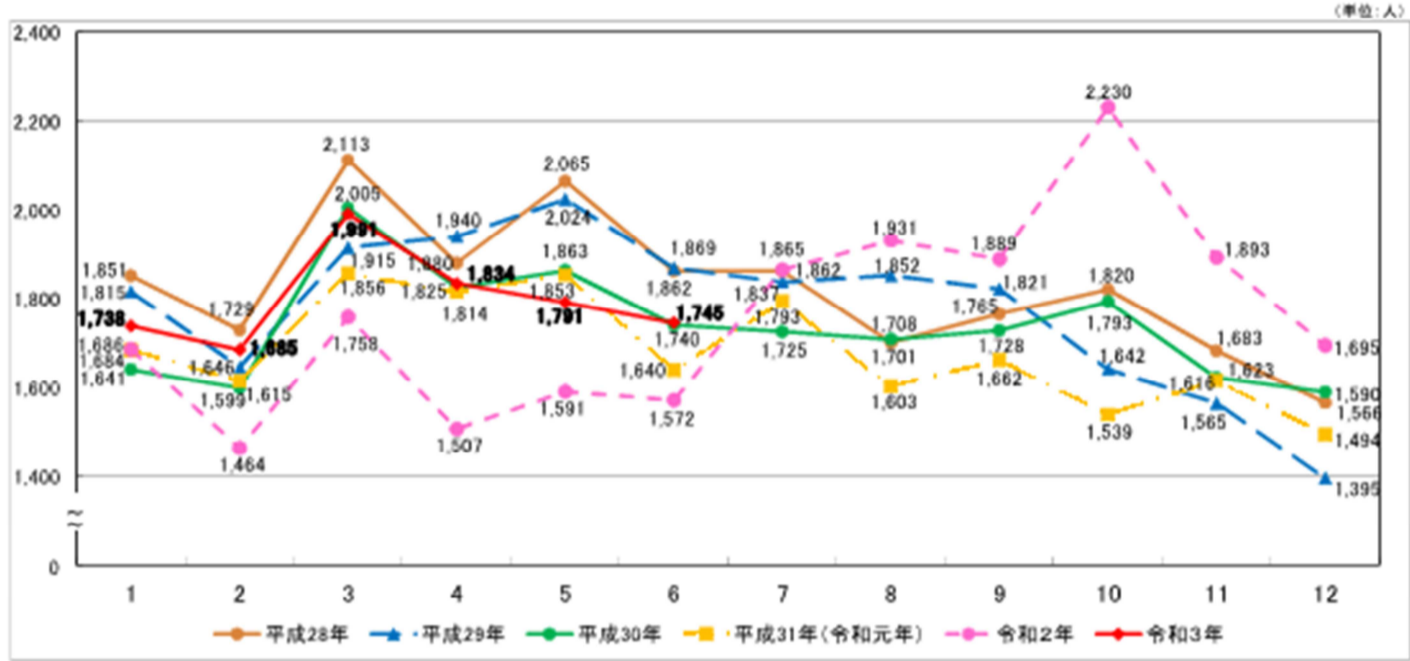
◆ 月別自殺者数 (出典：厚生労働省ホームページ 最新の状況、地域における自殺の基礎資料)

- ・月別自殺者数の推移をみると、令和2年（ピンク点線）は6月まで最小の人数でしたが、7月から上昇し、10月は過去最多となりました。全国、東京都は10月が最も多く、あきる野市はわずかですが6月が最も多くなりました。令和3年の速報値では、1月から6月まで、令和2年を上回っています。

警察庁の自殺統計に基づく自殺者数の推移等

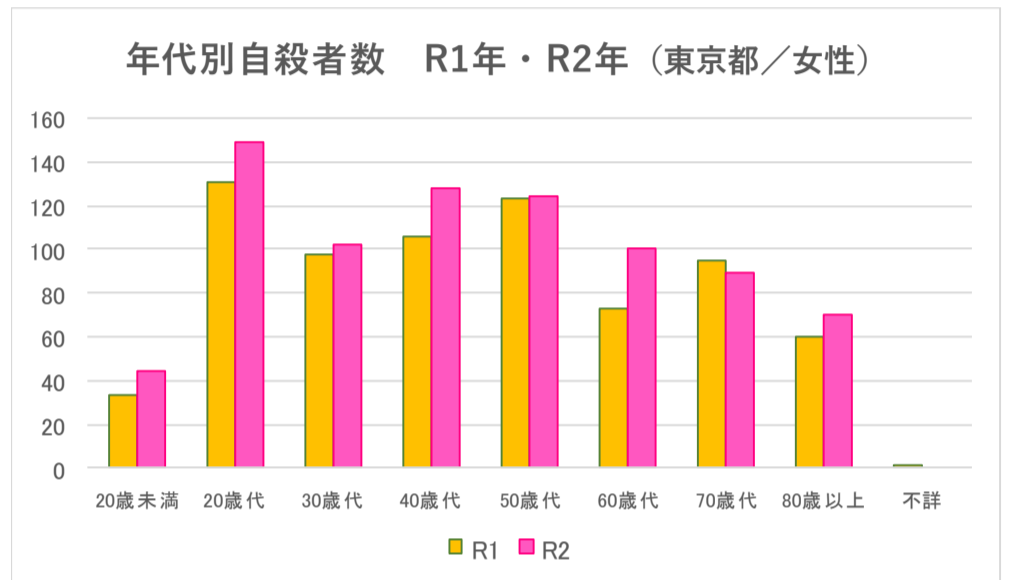
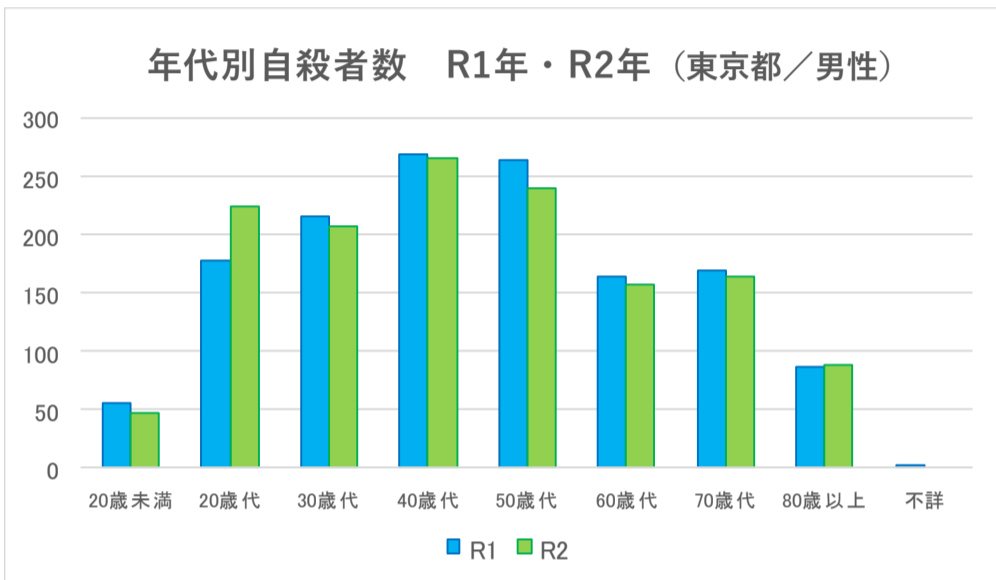
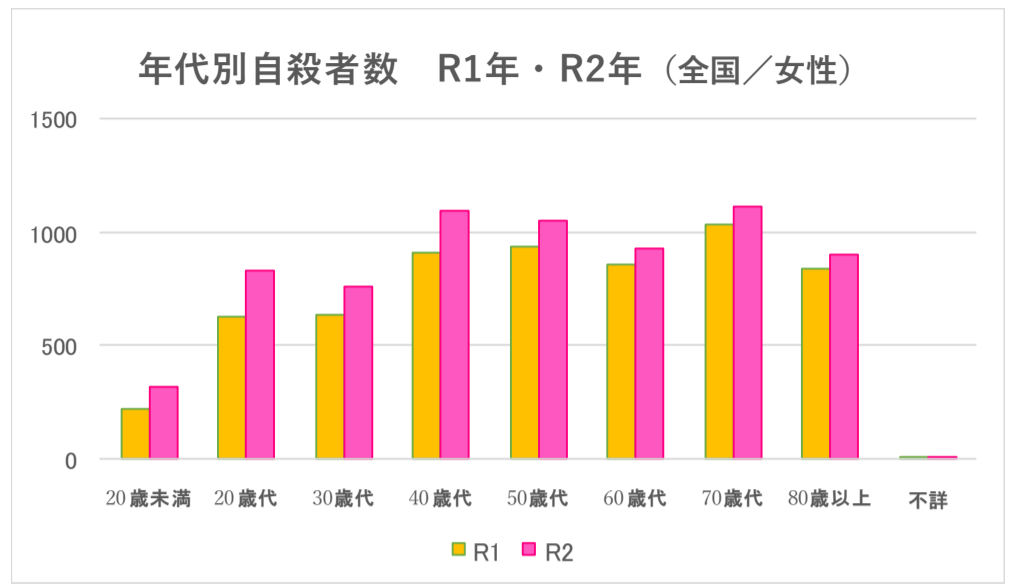
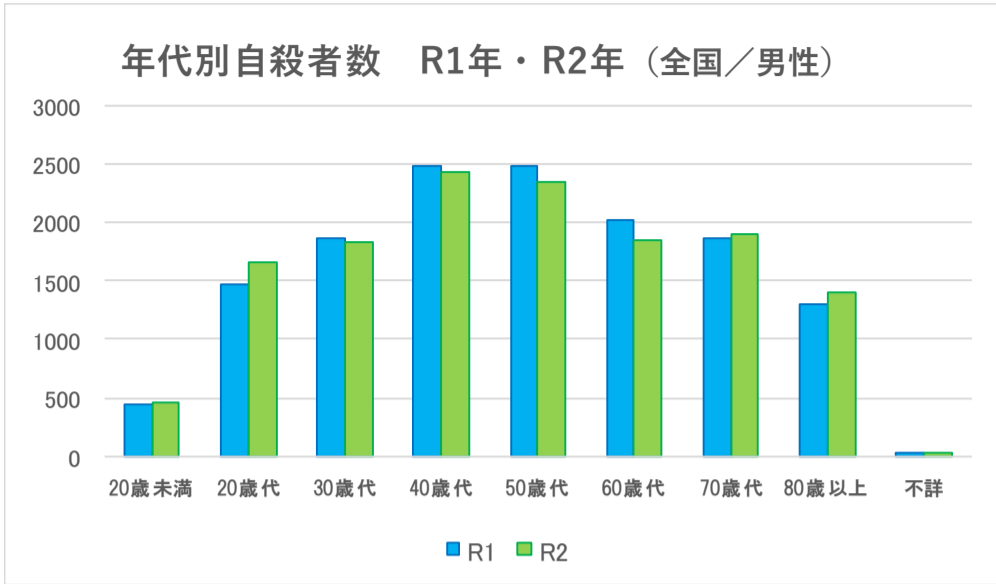
○ 令和3年6月の自殺者数(1,745人:速報値)は、対前年同月比173人(約11.0%)増。
 ○ 令和3年1-6月の累計自殺者数(10,784人:速報値)は、対前年比1,206人(約12.6%)増。

月別自殺者数の推移(総数)



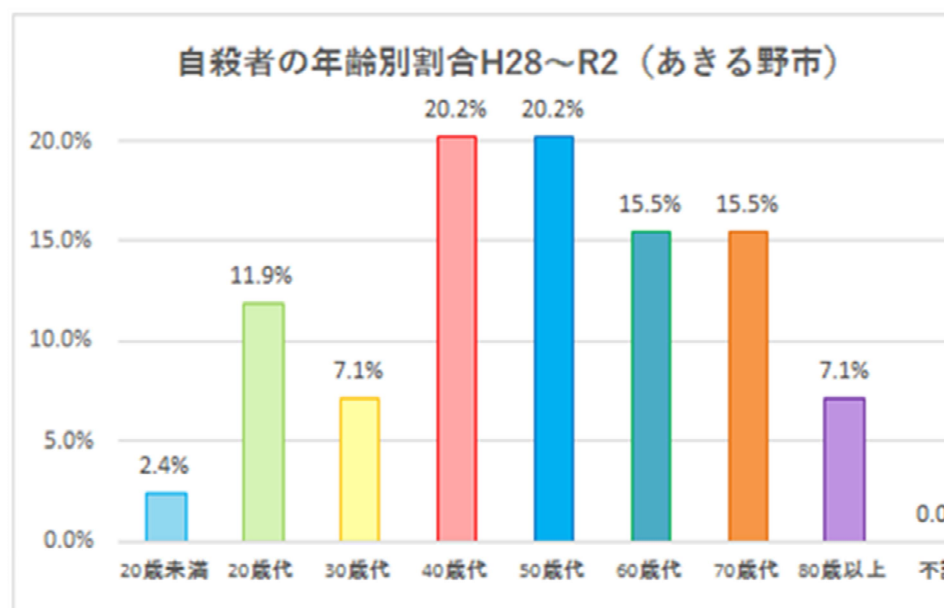
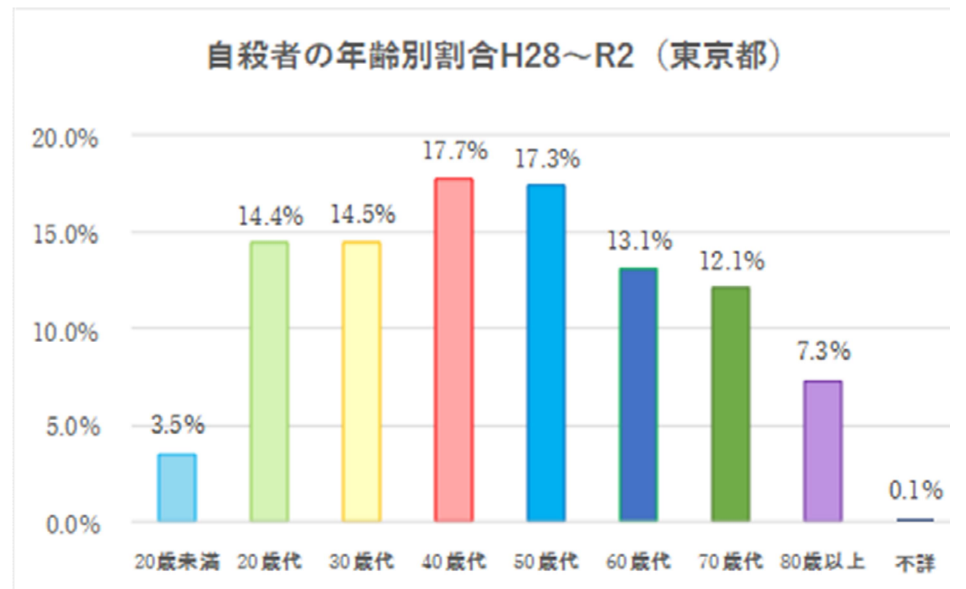
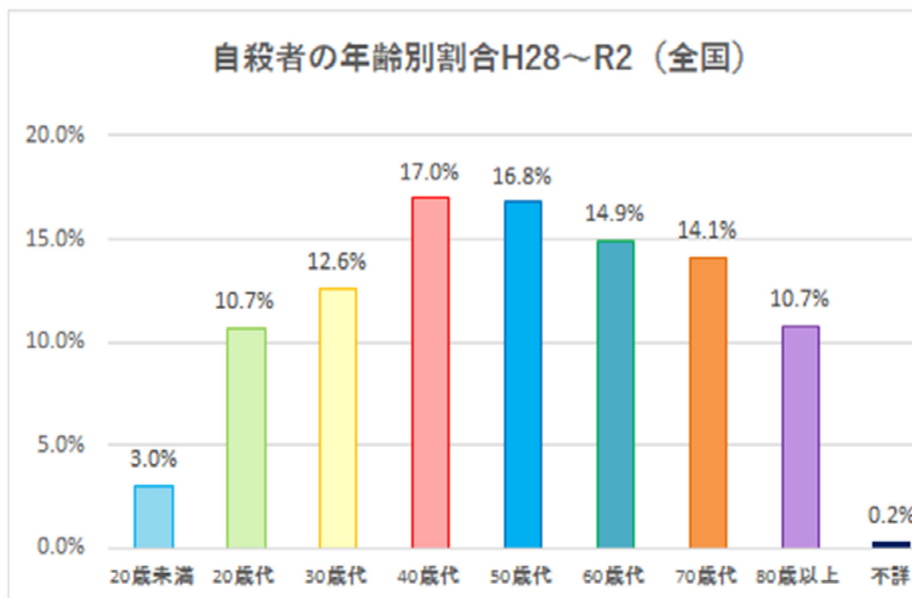
◆ 自殺者の年代別状況（令和元年及び令和2年比較）（出典 厚生労働省ホームページ 地域における自殺の基礎資料）

- ・男性は全国で20歳未満、20歳代、70歳代、80歳以上が増加しています。東京都は20歳代、80歳以上が増加しています。
- ・女性はほとんどの年代において、全国、東京都ともに増加しています。



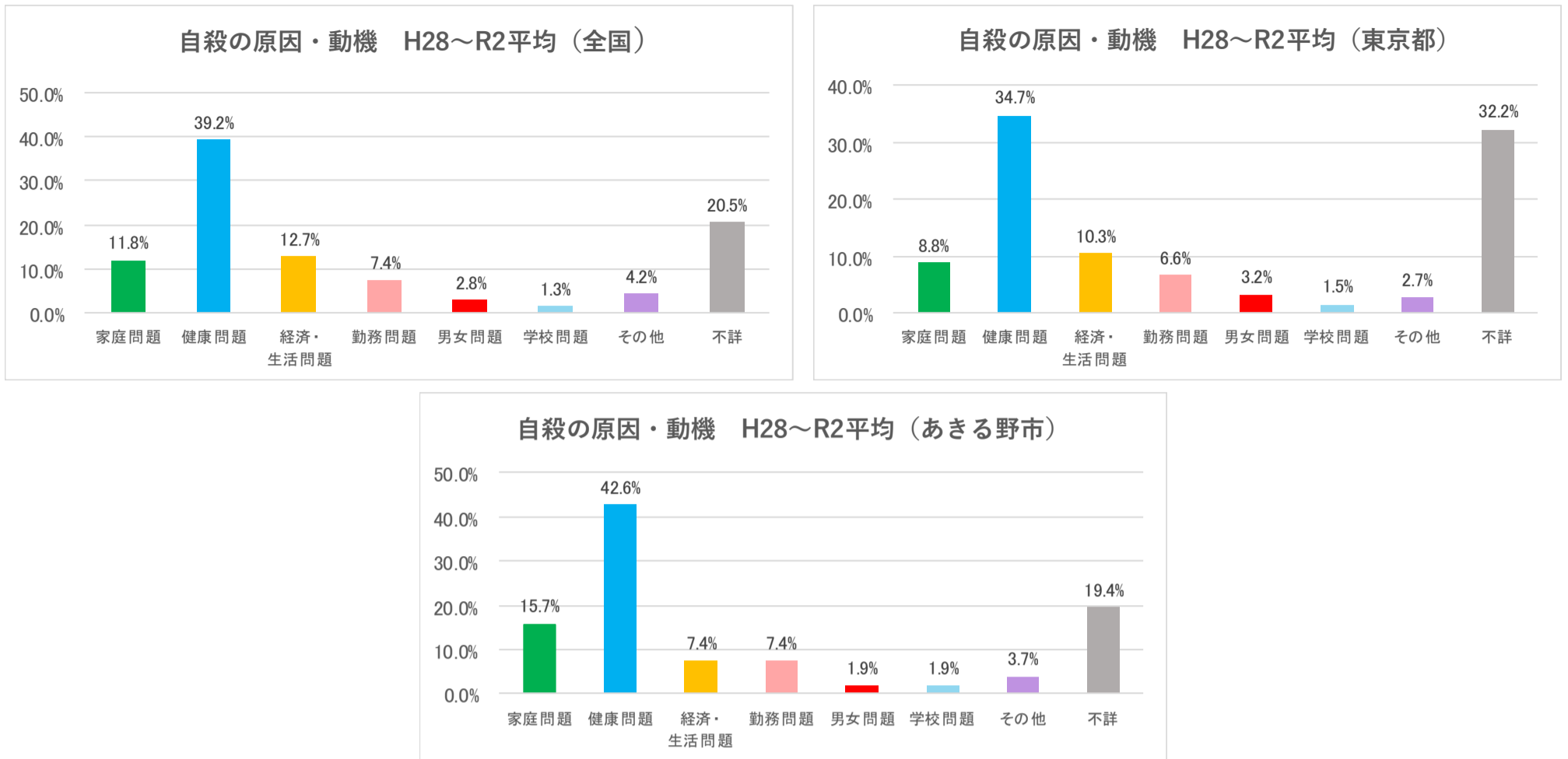
◆ 自殺者の年代別状況（平成28年～令和2年の5年間平均）（出典 厚生労働省ホームページ 地域における自殺の基礎資料）

- ・40歳代、50歳代の自殺者が多い傾向にあります。あきる野市は、全国、東京都と比較して、割合が高くなっています。



◆ 自殺の原因・動機（平成28年～令和2年の5年間平均）（出典 厚生労働省ホームページ 地域における自殺の基礎資料）

・自殺の原因、動機が明らかになっているもので、最も多いものは健康問題となっていますが、次に多いものは、全国と東京都では経済・生活問題、あきる野市では家庭問題となっています。



エ 地域自殺実態プロファイル（2020）から

・地域自殺実態プロファイルとは、国が地方公共団体の地域自殺対策計画の策定を支援するために、すべての都道府県及び市町村の自殺の実態を分析したものです。

◆ 地域の主な自殺者の特徴

・男性60歳以上無職同居と男性40～59歳有職同居が、上位2位の特性になっています。類似した特性が多いですが、東京都は40～59歳無職同居、あきる野市は男性40～59歳無職独居が上位となっています。

【全国】

自殺者の特性上位	自殺者数 (H27～R1年合計)	割合 (%)	背景にある主な自殺の危機経路（代表的一例）
1位：男性60歳以上無職同居	13,404	12.5	失業（退職）→生活苦+介護の悩み（疲れ）+身体疾患→自殺
2位：男性40～59歳有職同居	11,054	10.3	配置転換→過労→職場の人間関係の悩み+仕事の失敗→うつ状態→自殺
3位：女性60歳以上無職同居	9,987	9.3	身体疾患→病苦→うつ状態→自殺
4位：男性60歳以上無職独居	7,719	7.2	失業（退職）+死別・離別→うつ状態→将来生活への悲観→自殺
5位：男性20～39歳有職同居	6,538	6.1	職場の人間関係/仕事の悩み（ブラック企業）→パワハラ+過労→うつ状態→自殺

【東京都】

自殺者の特性上位	自殺者数 (H27～R1年合計)	割合 (%)	背景にある主な自殺の危機経路（代表的一例）
1位：男性40～59歳有職同居	963	8.6	配置転換→過労→職場の人間関係の悩み+仕事の失敗→うつ状態→自殺
2位：男性60歳以上無職同居	911	8.1	配置転換→過労→職場の人間関係の悩み+仕事の失敗→うつ状態→自殺
3位：男性60歳以上無職独居	800	7.2	失業（退職）+死別・離別→うつ状態→将来生活への悲観→自殺
4位：女性60歳以上無職同居	738	6.6	身体疾患→病苦→うつ状態→自殺
5位：女性40～59歳無職同居	677	6.1	近隣関係の悩み+家族間の不和→うつ病→自殺

【あきる野市】

自殺者の特性上位	自殺者数 (H27～R1年合計)	割合 (%)	背景にある主な自殺の危機経路（代表的一例）
1位：男性60歳以上無職同居	12	15.0	失業（退職）→生活苦+介護の悩み（疲れ）+身体疾患→自殺
2位：男性40～59歳有職同居	11	13.8	配置転換→過労→職場の人間関係の悩み+仕事の失敗→うつ状態→自殺
3位：男性20～39歳有職同居	7	8.8	身体疾患→病苦→うつ状態→自殺
4位：女性60歳以上無職同居	7	8.8	失業（退職）+死別・離別→うつ状態→将来生活への悲観→自殺
5位：男性40～59歳無職独居	5	6.3	失業→生活苦→借金→うつ状態→自殺